

11/7 法人会が町に手指消毒剤を寄贈

手を清潔に保って、感染症を予防

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）が、町内の小中学校に手指消毒剤 28 本を寄贈しました。消毒剤の寄贈はことしで 11 年目となります。訪問した宇藤毅平副支部長は「手を清潔に保つだけでも、予防に大変効果がある。さまざまな感染症に備え、有効に活用してほしい」と話しました。慶長隆光教育長は「子どもたちの健康管理に寄与するため、積極的に活用させていただきます」と話し、消毒剤を受け取りました。



（左から）宇藤副支部長、慶長教育長



絵本を受け取る園児

11/8 町内の児童・保育施設などに図書を寄贈

子どもたちの健やかな成長のために活用

町は、絵本「11 ぴきのねこ」シリーズの出版社である(株)こぐま社と同社代表取締役社長の廣木和子さんからの寄附金を活用し、町内の小学校と児童・保育施設の計 9 カ所に「11 ぴきのねこ」シリーズをはじめとした絵本や書籍を寄贈しました。この寄附金は、7 月に行われた「ほのぼの館リニューアル記念セレモニー」の際にいただいたものです。学校や学童施設には絵本と書籍 15 冊、保育施設には絵本 18 冊が送られました。いずみ幼稚園（小野正志園長）で行われた寄贈式では、松尾和彦町長が「読書や読み聞かせなど、子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、活用してほしい」と話し、園児たちに絵本を手渡しました。

11/14 災害等における廃棄物処理等の協力に関する基本協定 地域の環境保全のために基本協定を締結

奥羽クリーンテクノロジー(株)（笹垣岳史社長）と町は、災害等における基本協定を結びました。締結式では、笹垣社長と松尾和彦町長が協定書を取り交わしました。今回の協定は、地震、風水害、その他の災害が発生、または発生する恐れがある場合や、不法投棄などにより、地域環境に支障を及ぼす恐れのある場合において、同社の管理する施設を利用して、適正かつ円滑に地域の復旧活動が行えるよう備えるものです。松尾町長は「災害時における廃棄物などを迅速に処理し、早期復旧できることを期待しています」と話しました。笹垣社長は「地域の環境保全と災害時の廃棄物処理などに貢献できるよう、自覚と責任をもって業務に当たりたい」と話しました。



（左から）笹垣社長、松尾町長



研修を受ける牧之原市の皆さん

11/14 牧之原市議会が町に行政視察

町の小中一貫教育について学ぶ

町の友好都市である静岡県牧之原市の議会は、行政視察のため町を訪れました。視察には、市議会議員 15 人、杉本基久雄市長、市職員 4 人が来町。SAN・SUN 産直ひろばの見学や、小中一貫三戸学園で研修を行いました。その後、役場で行われた交流会で、三戸町議会の竹原義人議長は「本日の研修が少しでも牧之原市の役に立てたらうれしい。両市町の友好がますます深まることを願います」とあいさつしました。牧之原市議会の植田博巳議長は「大変すばらしい学校を案内していただき、感謝しています。牧之原市の学校再編にも役立てていきたい」と話しました。